

## 第58号

発行：令和5年8月

会員数：146名（7月末現在）

（家族会員=13名、個人会員=133名）

発行責任者：田中 恆（ひさし）

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

# 友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

観光文化スポーツ → 文化情報・施設 → 松浦武四郎記念館 → 松浦武四郎記念館友の会について

（松阪市で検索してね）

## 「松浦武四郎を偲んで」 松浦 寿久

友の会の皆さん、この3年間は世界中でパニックを起こしたコロナで武四郎の散策「神鏡を訪ねるバス旅行」などの活動が制限された年月であり、不自由をかけた会であった事と思います。でも、令和5年度より、この様なコロナ感染も下火になり、本格的な活動が戻ってきた事を連絡させていただきます。

自分が時々武四郎の偉大さを振り返って、幼い頃の武四郎はどの様にしていたのか、また、それ以後はどの様に活動して今日の地位を確立したのかをふと考える事があります。今回は、その行動を少し簡単に上げさせていただきたいと思います。

まず、幼年期はわんぱくで活動家であったように聞いています。7歳ごろは真覚寺で来応和尚に学問を教わり、丁度世の中では、おかげ参りで伊勢参りが盛んな頃でした。13歳で津藩の平松楽斎に学問を学んでいました。その過程で冒険家の夢が湧き上がって、17歳の時に家族の反対を押し切って全国各地を廻っていたかと思われま。26歳の時に長崎にてロシアの南下による日本の危機を知り、蝦夷地へ渡る決意をして、9年ぶりに実家に戻り、それからは蝦夷地の探検に没頭する壮大な人生が始まる日々が待ち受けているわけです。この様に、自分で思いついたら、それ一筋に没頭する人生は、人にはわからない探検家としての優越感であると思います。

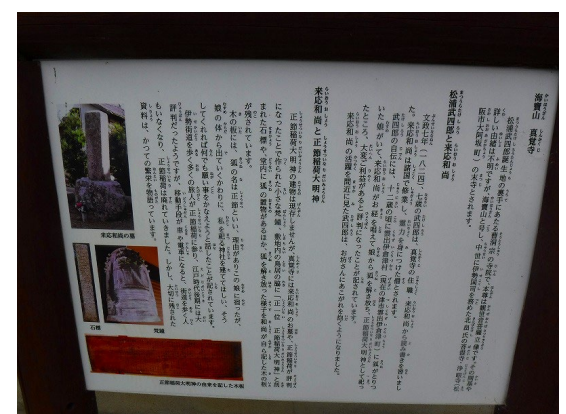
1845年が第1回で28歳にて蝦夷地に渡り知床半島近隣、第2回29歳で樺太近隣、第3回32歳で国後島・択捉島、第4回39歳で北海道の海岸線と樺太近隣、第5回40歳で石狩川・天塩川、第6回41歳で十勝・日高・道東、以上が武四郎が探査した北海道の調査結果です。

38歳で幕府から「蝦夷地御用御雇入」の命を受けています。また、52歳で開拓判官に任命され従五位に叙せられます。

この後は、生まれ故郷の大台ヶ原に68歳・69歳・70歳の3年間に3回登山され、70歳には富士山にも登っています。

武四郎さんは、普通では考えられない行動を起こす人物だったと思われま。

これからも友の会は武四郎さんの行動している範囲について解明して行きたいと思われま。



海寶山真覚寺です。幼い武四郎さんがここで読み書きを学んだということです。

## 友の会総会（報告会）開催！

2023年（令和5年）5月14日（日）には、武四郎講座に引き続いて、松浦武四郎記念館友の会の総会が行われました。今年も、完全にコロナが開けていないことを考慮して、報告会とさせて頂きました。参加してくださいました皆様、本当にありがとうございました。

毎年、総会について詳しく報告するべきなのですが、紙面の関係で参加していない方々にはお伝えしておらず申し訳ありませんでした。今年からは、なるべく詳しくお伝えできればと考えております。

総会では、会長挨拶の後、来賓のご挨拶があり、今年は、松阪市長竹上真人様のお言葉いただきました。お忙しい中、駆けつけて頂き、花を添えて頂けて大変嬉しいことでした。影で応援頂けていることと大変心強く感じさせて頂きました。



竹上市長、ありがとうございました

議事に入って、田中会長から令和4年度の活動報告がありました。

4月 友の会だより発行 5月 令和4年度総会（報告会） エゾヤマザクラの消毒と施肥

6月 三雲ほっとギャラリーにて友の会活動展 6月1日～30日

7月 松阪偉人顕彰団体主催「偉人たち展」 7月6日（水）～10日（日）

8月 友の会だより発行 9月 伊勢方面のバスツアー中止（コロナ感染予防の為）

10月 偉人発見ウォーク「大谷嘉兵衛を訪ねる旅（23日）」参加

11月 バスツアー「神鏡を訪ねる旅（14日）」大坂方面、長洲天満宮と道明寺天満宮、応神天皇古墳へ、参加者は、33人。神鏡を拝見することができ、3年ぶりに楽しく会員交流もできて充実した1日でした。

12月 友の会だより発行

1月 第三回拓本体験会の開催（28日）

2月 第28回武四郎まつり（26日）での活動展示など（記念館、誕生地）

3月 第三回拓本体験会作品展示（3月1日～31日）武四郎誕生地主屋にて

続いて、会計の古川さんから、会計報告がありました。

前年度繰越金32140円、年会費85000円、その他合計119640円の予算でしたが、12348円の収入がありました。

支出として、決算額の主な物は、事務費26266円、通信費24464円、研修費10000円、樹木管理費4480円、講師料5000円、偉人顕彰団体協議会年会費5000円、その他合計78396円で、差引残高43952円を繰り越します。監査報告で、飯田嘉之さん、倉田高雄さんから適性であったと認めていただきました。

次は、役員について、継続ではあるが、一名家庭の都合などから河村幹事が辞任した事が報告されました。

改めて紹介すると、会長は、田中恆、副会長は、松浦寿久、会計は、古川巧、幹事は、出口孝次（友の会だより担当）、齋藤和子、柴田実、粉川哲夫、齋藤猛夫、監事



田中会長の挨拶

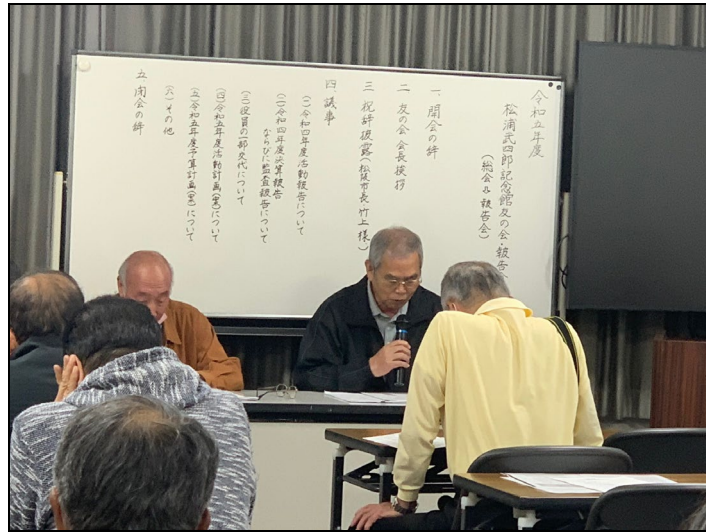


(会計監査) 飯田嘉之、倉田高雄、顧問は、記念館館長山本命さん、前会長飯田秀さんです。本年度も、よろしくお願いします。

令和5年度の活動計画、会計計画については、特に毎年と違うところを紹介します。

田中会長から、「今年の偉人たち展は、7月ではなく8月9日(水)から13日(日)に文化財センターで行われると発表があり、夏休みのお子様にもたくさん来場してもらって、若い世代へもアピールしていこうと考えている。」とのことでした。他にも、伊勢方面へのバスツアーを9月に行いたい。10月29日には、偉人発見ウォークを松浦武四郎を訪ねるとして市内全域から子ども達を中心に募集してもらって役員で引率などを行う。バスツアー神鏡を訪ねる旅を京都方面に11月13日(月)に行い。錦天満宮の御神鏡を拝見する。1月には、武四郎さんのたばこ入れと同じ擬革紙(ぎかくし)について学んだり体験したりするツアーを計画するなどの発表がありました。

会計の古川さんからは、今年の予算は、繰越金43952円、年会費の見込みは、78000円などで、合計123952円。支出は、例年と変わらないとのこと。特別会計の34287円を使う予定は無いとのことでした。



会計の古川巧さん

## 振興局ギャラリーで活動展

6月1日30日までの1ヶ月、三雲地域振興局玄関にある「ほっとギャラリー」に、松浦武四郎記念館友の会コーナーとして、今年も展示させて頂きました。担当職員の方にお聞きすると、「例年よりも見ている方が多かったですよ」という嬉しい話をしてくださいました。



たくさん目のにとまったかな？



## 【記念館からのお知らせ】

### ☆記念館講座のご案内

8月13日(日)10:00から テーマ:「武四郎と五街道」講師:佐藤圭祐(記念館学芸員)

9月10日(日)10:00から テーマ:「武四郎の旅の資金」講師:山本命館長

9月30日(土)10:00から 特別講座「アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵物語」

講師:石渡一人氏(北海道別海町郷土資料館学芸員)

天方博章氏(北海道羅臼町郷土資料館学芸員)

10月8日(日)10:00から テーマ:「武四郎と加賀伝蔵」講師:山本命館長

11月12日(日)10:00から テーマ:「会津藩標津代官南摩綱紀とメナシのアイヌ」

講師:小野哲也氏(北海道標津町ポー川史跡自然公園 園長)

12月10日(日)10:00から テーマ:「武四郎の出版活動(仮)」講師:世古詩央里(記念館学芸員)

### ☆企画展示のご案内

7月28日(金)~9月24日(日) 企画展「武四郎と五街道」

9月29日(金)~11月26日(日) 特別展「メナシのアイヌとともに生きる~加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀~」

12月1日(金)~1月28日(日) 企画展「武四郎の出版活動(仮)」

今回の企画展は、佐藤学芸員を中心にして、展示替えをされたそうです。皆様、涼しい館内でゆっくり見てくださいね。



## 【友の会よりのお知らせ】

### 第9回松阪の偉人たち展！

友の会として、展示ブースを出します。

今年は、夏休み中です家族で来てね！

子ども達大歓迎です！！

日時 2023年(令和5年) 8月 9日(水)~13日(日)

9:30~16:30(最終日は、15:00まで)

場所 松阪市文化財センター展示室



### 🚌 神鏡を訪ねるバスの旅募集！

日時:11月13日(月曜日) 松浦武四郎記念館集合、途中、中川駅乗車可(10分前には来てね)

朝7時30分出発です。武四郎記念館着は、午後5時頃。

見学地は、京都四条にある錦天満宮、菅大臣天満宮(立ち寄り)、

黄桜酒造伏水蔵(昼食場所、見学も)、坂本龍馬ゆかりの寺田屋

参加費は、会員7,000円(定員40人)一般の方は7,500円

※今年は、補助も無いので、お土産ありませんが、初めて拝見出来る錦天満宮のご神鏡が楽しみです。



### 会費納入のお願い

令和5年度の年会費を、納付いただきますようお願いいたします。今後、口座振込みをご希望の方は、記念館事務局 0598-56-6847 へお問い合わせください。



次回の発行は、12月の予定です。

